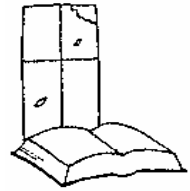


## ディボーション質問表



### 24日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

### 25日(月) エズラ記 7章

1. ここで初めて祭司、学者のエズラが登場します。アルタシャスタ王はエズラを派遣し、イスラエルの再建をさらに確固なものとしします。神がこのように王を動かす事があるとすれば、私たちは政治に対してどのような態度で接するのが望ましいと思いますか。
2. ペルシャ王によって神殿礼拝者には免税措置が施されています。今日の宗教法人法の原型です。また裁判権も与えられ、地方自治が認められました。神の私たちへの配慮と共通している部分は何でしょうか。

### 26日(火) エズラ記 8章

1. 2~14節の系図は誰のことでか(1節)? 彼らは安定した住み慣れた場所に留まるより、自分たちのアイデンティティ、目的、ビジョンを達成するために旅に出る決断をしました。  
→ 人間的判断、損得ではなく、信仰によって日々決断しているだろうか？
2. 24~34節に貴重品を運ぶシーンがあります。通常、軍隊が護衛につくのですが、彼らはどうしましたか(21~23節)?

### 27日(水) エズラ記 9章

1. 帰ってきた人々はどのような生活をしていましたか(1~2節)? それに対して、エズラはどうしたでしょうか(4~5節)?  
→ 罪深い世に対して怒るのではなく、悲しんでいるだろうか。とりなしているだろうか。
2. エズラの祈りから学んでみましょう。彼は、共同体、先祖たちがしてきたことをとりなしますが、まるで自分が最も大きな罪を犯した人のように恥ずかしく思い、悲しみました。6~15節を読んで、とりなしの良きモデルの原則を見出してみましょう。

### 28日(木) エズラ記 10章

1. エズラの祈りはどのような結果を生みましたか(1~6節)? 彼は、王から得た権限を持っていましたが、それを使わなくても人々の協力を得たようです。このことから学べる真理は何でしょうか。
2. 彼らは神に選ばれた民というアイデンティティを回復するために徹底的に聖別をします。18~44節に国際結婚した者の固有名詞を記載するほど徹底的にやったことがわかります。  
→ 私は、徹底的にイエス様の十字架によってあがなわれた者として整えられることを望んでいるだろうか？

### 29日(金) ネヘミヤ記 1章

ネヘミヤはリバイバル(復興)の書、城壁を復興する物語です。彼らは反時計回りに城壁を建築しました。エズラ記とネヘミヤ記は本来1冊でした。

1. エズラにも見られましたが、ネヘミヤも悲しい出来事と遭遇する時あることをします。それは何でしょうか(4節)? → 復興の書は、リバイバルには悲しむ心によるとりなしの祈りがあることを示しているということに気付いているいますか。
2. ネヘミヤが掴んでいた神さまの約束は何でしょう(9節)。

### 30日(土) ネヘミヤ記 2章

1. キスレウの月とニサンの月の間は約4ヶ月なので4ヶ月間もとりなし続けたこととなります。その後どのようなことが起こりましたか(1~6節)? → ことが起こるまで祈り続けているだろうか?
2. ネヘミヤは自分の願いが叶ったことをどのように表現していますか(8節)?  
→ 成功を自分の栄光にしていらないだろうか?
3. ネヘミヤは皆に着手する事柄を伝える前、何をしましたか(11~17節)? また、復興作業に入るとき、どんな弊害がありましたか(10、19節)?